

保護者のみなさまへ

～新しい年を迎えて～

年末から年始にかけて全国的に新型コロナウイルス感染が拡大していることから、政府は1月7日に新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言を東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県、1都3県に発令しました。また、京都府、大阪府及び兵庫県の3府県は1月9日に政府に対して緊急事態宣言の発令を要請しました。

例年であれば、新しい年を迎え新たな気持ちで様々な取組を始めているところですが、今年はコロナ禍により先行きが不透明なこともあり一歩が踏み出しにくい状況にあります。

さて、昨年は「庚子（かのえ・ね）」の年でした。この年は、力強さをイメージする「庚」と始まりの意味を持つ「子」とがあわさり、大きな変化が生じる1年だと考えられています。結果は新型コロナウイルスに翻弄された1年だったと言えます。感染拡大により「3つの密の回避」「新しい生活様式」「WITH コロナ」や「POST コロナ」など、これまでの生活が一変しました。そういう意味では、大きな変化が生じた1年であったことは事実です。

今年は「辛丑（かのと・うし）」の年です。「辛」は草木が枯れ新しくなろうとしている状態を、「丑」は種から芽が出ようとする状態を表しており、痛みを伴う衰退と新たな息吹が互いに増強し合う1年と考えられます。痛みを伴う衰退とはまさしく新型コロナウイルスによる社会生活への打撃のことであり、新たな息吹とはワクチンや治療薬の開発による新型コロナウイルスの収束そして終息、社会経済活動の復活や学校教育活動のさらなる充実のことではないでしょうか。

改めて昨年を振り返りますと、一昨年12月に海外で新型コロナウイルスによる肺炎患者が発生し、日本では、昨年1月16日、海外からの帰国者から新型コロナウイルスが検出されたのが初症例、その後日本中に感染が拡大しました。学校・園は、3月2日から臨時休業を余儀なくされ、卒業式、修了式は実施できたものの、簡素化や人数制限などの感染拡大防止対策を講じた上での実施となりました。その後一旦臨時休業を解除したものの緊急事態宣言を受けて再び臨時休業となったため、入学式、入園式は6月の実施となりました。

臨時休業期間中の3ヶ月間は、ご家庭のご理解、ご協力により学校・

園との繋がりを保つ中で、子どもたちは外出を自粛しながら生活面、学習面ともに頑張ってくれました。

6月以降、学校・園では3ヶ月に及んだ学習の遅れを取り戻すために、教育課程の再編成や授業の工夫などに取り組んできました。

特に、感染拡大防止の徹底した取組を行い、授業ではいわゆる「3つの密」を回避する取組を行うとともに、日々徹底した消毒作業を実施し、また、学校行事については、中止や延期、実施しても規模の縮小や無観客での実施など、これまでに経験したことのない取組を全教職員で取り組んできました。

ご家庭ではお子様の日々の検温や体調管理など様々な取組をしていただき、感染拡大防止に大きく寄与していただきました。最も重要な学校行事である修学旅行をやむなく中止する中で、保護者のみなさまのご理解、ご協力のもと児童生徒の思い出づくりのために代替行事を実施しており、子どもたちにとって素晴らしい一日となっています。

いくつかの学校・園で感染者が判明したものの、他者への感染やクラスターが発生しなかったこと、また、感染者に対する心ない言動はなく、むしろ学校・園に対する励ましのお言葉や保護者どうしでの温かい声掛けなどがあり難局を乗り越えることができました。

コロナ禍の中で幼稚園や小中学校を訪問しましたが、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保や手洗いの励行など制約の多い中で、笑顔を絶やさず頑張っている子どもたちの姿に感動しました。

子どもたちは、現状を甘受するだけでなく、様々な取組に自ら果敢に挑戦してくれています。過度な不安や根拠のない自信ではなく、「正しく恐れる」の本質を心で感じ取り、行動してくれています。

幼稚園では、例年田辺中央体育館で実施してきた幼稚園大会を、今年度は各園で撮影した子どもたちの様子や園での取組についてHPでの配信に変更しましたが、アイデアと努力により素晴らしい企画となり、多くの方に視聴いただき好評を博しました。「家族みんなで何度も視聴した。」「園での様子がよく分かり子どもとの会話が弾んだ。」などの感想をいただくなど大きな希望となりました。

コロナ禍において多くのことが失われたのも事実ですが、そのような状況において保護者のみなさまと学校・園が一致団結して感染拡大防止に全力で取り組むことで、失ったもの以上に素晴らしい結果が得られたと私は確信しています。

政府の1都3県に対する緊急事態宣言発令に先立ち、文部科学省は1月5日及び8日の通知において、「地域一斉の臨時休業については、学校

における新型コロナウイルスのこれまでの感染状況や特性を考慮すれば、子供の健やかな学びの保障や心身への影響の観点からも、避けるべきである。」としています。本市としましては現段階では一斉の臨時休業は考えていませんが、万一学校・園において感染者が発生した場合は、該当校（園）の臨時休業を行う予定です。

本市では、京都府に緊急事態宣言が発令されることを前提に、今後も市独自の感染防止マニュアルに基づき、ウイルスを持ち込まない・持ち出さないための取組や、3つの密（密閉、密集、密接）を避ける取組を徹底すると同時に、幼児児童生徒の安全・安心を最優先する中で教育活動を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからない今、みなさまが不安を感じておられることは当然です。

教職員もまた不安を感じていますが、この不安を払拭すべく教職員は今できることに全力で取り組んでいます。

1日も早くコロナ禍が収束し、そして終息することを祈念しながら、改めましてみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本市の子どもたちの健やかな成長を願うとともに、みなさまにとって明るく希望に満ちた、実り多い年となりますことを心から祈念申し上げます。

年末に母の状態が芳しくないとの連絡があり、特別に面会の許可をいただきました。10分間だけの面会で、寝ている母に何度も声を掛けましたが、投薬の影響か目を覚ましませんでした。主治医からも覚悟しておくようにと言われてました。しかし、先日主治医から「奇跡のV字復活です。」と声を弾ませた電話がありました。これが3度目のV字復活！です。とっさに「すぐに面会に行きます。」と言いましたが、「コロナ禍のため面会は全てお断りしています。」とのこと。嬉しくそして悲しく（俗に言う泣き笑い）になりました。

先日の面会では、気持ちに余裕がなく5月1日に伝えるはずだった「**Happy Birthday!**」を伝えられませんでした。この言葉は、母の笑顔を見に行くまで大切に取っておきます。

令和3年（2021年）1月12日  
京田辺市教育委員会  
教育長 山岡 弘高